

幸せを受け継ぐ相続 賢く損せぬ賃貸経営

空き部屋が多いと
相続税が高くなる!?

■ 貸家用土地の評価額
土地の評価額は

更地の評価額 × (1 - 借家権割合 (30%))
× 借地権割合 × 貸付割合) = 貸家が建

てられている土地の評価

つまり、よく耳にしますが、なぜ節税になるのでしょうか? 貸家と貸家が建っている土地の評価額には「評価減」が適用されるからです。

相続税の節税にアパートを建てるというのは、よく耳にしますが、なぜ節税になるのでしょうか? 貸家と貸家が建っている土地の評価額には「評価減」が適用されるからです。

■ 建物(貸家)の評価額

貸家の相続税評価額は、建物の場合30%の評価減を受けることができます。つまり、通常の住宅に比べて70%の評価で計算されます。ところが、ここで問題になつてするのが「貸付割合」です。どれだけ部屋を貸しているかで、評価額が変わってきます。

空室があつても固定資産税や清掃代、ローンなどの支出は変わらないのが賃貸経営。家賃収入も減り、相続税も上がりります。今はアパートが有り余っている時代です。他のアパートと差別化を図るなどの対策をして、入居率アップを考えましょう。差別化を図るために賃貸経営セミナーも開催していますので、是非ご参加ください。

※借地権割合は地域によって異なり茨城県で40%~50%くらいです。貸付割合の計算は、相続が発生した日(亡くなった日)となります。

幸せを呼ぶ不動産マイスター
大澤 健司
公認不動産コンサルティングマスター
定期的にオーナー様向けのセミナーを開催しています。
経営編 5月7日(土)~スタート
お気軽にお問い合わせください。

どうする? 土地活用

オーナーチェンジ
物件売買のポイント

オーナーチェンジとは、現在賃貸物件として活用されているアパートや、投資用ワンルームマンション等の住宅を、入居者はそのままの状態で、購入すること(または売却すること)です。

購入するメリットは、新築物件のように一から入居者を見つけるという手間が省け、購入時から一定の収益が見込まれることです。また、新築物件に比べ、初期投資額を抑えることが出来ます。デメリットとしては、満室物件の場合は部屋の状態が見られないこと。築年数が古い場合はローンが難しかったり、リフォーム等の修繕を考慮しなくてはならないこともあります。条件の良い物件でも、この物件がなぜ、売りに出されたのか?を確認する必要があるでしょう。今までの賃貸状況がどうだったか?トラブルはなかったか?などを確認してください。

「お得な物件を見つけたい」

逆にご自分のアパートを手放したいとお考えの場合は、有利に売却するためにも満室であることが望ましいでしょう。近隣の売買状況や公示価格などを確認することも重要になります。また、どう価格を決めたらいいか、広告はどうするのかなど、専門家に相談をするのがベストです。当社スタッフまでお気軽にお問い合わせください。

■ 売却時のポイント 「なるべく高く売りたい!」

